

碩 心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可
神奈川 碩心 会 発行

12年11月現在 逗葉大(合) 子山地 山地区 船地区 地地区 計	会員数 129名 188名 29名 346名	12年11月 (340号) 発行者 千 葉 岳 関 編集者 白 井 岳 麗
---	------------------------------------	---

行事予定

○指導者納吟会

日時・12月19日(火) 17時30分集合

場所・神奈川県警葉山荘(真名瀬)

☎〇四六八一七五一一二六九

○平成13年度碩心会初吟会

日時・13年1月14日(日) 10時〜16時

会場・逗子会館

会費・三千円

各支部ごとに申込名簿に会費を添えて

企画部長 内山岳青へ

先 星野輝岳〇四六八一七一一六五一七

連絡 田中明岳〇四六八一七三一二五七六

メ切日・11月28日(火) 申込後のキャンセル

追加は1月8日まで

担当支部は大船、栄、松和、戸塚支部

逗子A支部の支援もよろしく願います。

○第24回横須賀第二地区大会、10月22日に次

の方が冠称、表彰を受けられました。

冠称 宗匠 沼田 岳 雷

高年齢者 山口岳夕 渡辺岳峰

表彰 荒木岳笙 沼田隆岳

宇都宮徳岳 栗山彩岳
石井峯風

第24回横須賀第二地区吟道大会

滝の坂支部 佐久間 岳 爽

秋晴れの10月22日(日)、横須賀市はまゆう会

館に於て、第二地区吟道大会が開催された。

式典に於て県総本部長立平岳昇先生は「詩

歌は日本の伝統のある文化である。その意を

解して21世紀に向い、一層精進されることを

願いたい」と挨拶された。

総本部長理事石毛岳象先生は「青少年の育成

は、長距離ランナーを育てることになる。私

達では既に年数が足りないのです、皆様のお力

で一人でも多く詩吟の会に入会するよう、ご

協力をお願いしたい」と述べられる。

この大会に於て冠称を受けられた方が数人

いられ、わが碩心会では沼田岳雷先生が授与

された。また山口岳夕先生他6名が高年齢者表

彰を受けられ、共に盛大な拍手が贈られた。

会員の独吟、合吟、詩舞はそれぞれ日頃の

成果をここぞと発表し、更に合吟コンクール

は熱吟が続いたので、成績が発表される会の

終了まで会場は席を立つ人も少なく充実して

いた。万歳を三唱して二千年の最後の横須賀

第二地区吟道大会の終幕となった。

第34回葉山町文化祭
詩吟、詩舞、三曲発表会

滝の坂支部 加藤 漢 岳

心配された天気もなんとかもって11月3日葉山町文化祭の一環として、詩吟、詩舞、三曲の発表会が、福祉文化会館に於いて開催されました。

今年は詩吟、詩舞と三曲が交互に演じるように演出され、それぞれに違った文化を味わう事が出来ました。

午前10時、三曲の琴の調べから始まり、二部の詩吟では皆さん日頃の練習の成果を披露されました。第三部の構成吟は、昨年の李白に続き杜甫の世界を詩吟と詩舞とで演じました。午後三曲から始まり、加藤岳洵先生と三曲会会長の挨拶をはさんで、京愛会、紅舟会、紫舟会の方々による華麗な詩舞が披露されました。最後は理事の先生方による朗々とした吟詠で締めくくりました。

そして中村岳愛先生の閉会の言葉で4時過ぎ、無事終了する事が出来ました。

朝早くからお手伝い頂きました役員の方々本当にご苦労様でした。

逗子市文化祭

真澄支部 服部 翠 岳

11月3日文化の日、図書館ホールに於て詩吟、詩舞大会が開催されました。

あいにくの空模様でしたが会場には既に多数お集まりでした。

9時30分、定刻に小林玲舟先生の開会の辞村田岳瀨先生の先導で富士山の大会吟の後、各会の吟詠に入りそれぞれ熱の入った吟でした。今日の為に一生懸命練習された様子が伺われます。各会の吟法も様々だと感じました。

午前半ば私も詩舞の準備のため、着替えに入りましたので華道吟式典を中座して申し訳なく思っております。

午後は紫舟会の詩舞で小さい子の舞は会場が一度に和やかな雰囲気となり、後の番は大変だと思いつながら自身の舞も終りホッと息つく間もなく、始めての伴吟となり緊張致しました。何とか終りましたが伴吟の重要なことをつくづく感じました。

今日一日は忙しくも充実した一日でした。先生方、役員の方々にお世話様になり、ありがとうございました。

第111回全国大会第一日目
佐賀県吉野ヶ里遺跡を見て

上村 岳 章

広大な遺跡を前にして大変なカルチャーショックを受けました。

それはカメカンに納められた首無し人骨があったことです。

何時の時代も争いは絶えず、戦いに勝つための道具つまり武器の発達が進歩を助け、食べ物を豊にし、文化が生まれ、それを守るために又戦を行う。

人類は遂には一瞬にして人類自身を滅亡させ得る原子爆弾を持つに至っても、尚いまだに世界の何処かで戦争が行われています。

人類が現れてから今日まで争いが絶えませんが、しかし、しては成らないことも悟り、次世代に伝えるために教育が始まったとも云われております。

長崎の原爆資料館の中の遺物が、争いの無い平和こそが人類の究極の目的であることを語り掛けてくれています。

このたびの吟行会の意義は、趣味を楽しむ自分自身の境遇に感謝したい、そんな気持ちにさせて頂きました。

鎌倉市詩吟詩舞連盟大会

堀内支部E 西岡清岳

鎌倉市の文化祭の行事の一端として、創立15周年記念大会が10月8日(日)に鎌倉芸術館大ホールで開催されました。







吟、和歌、俳句、新体詩に合わせた詩舞、剣舞は会場を魅了しました。

当日は姉妹都市である長野県上田市文芸協会の構成吟が信濃をテーマに披露されました。鎌倉は「四季をいろどる詩舞」を、古都鎌倉の詩情をこめて演じられました。

午前最後のアトラクションは、津軽三味線と豪快な和太鼓の競演でした。どこかもの悲しく、望郷の念をかきたてられます。和太鼓は、力強く、華麗なバチさばきに酔いしれました。午後は吟、舞、書華道と盛り沢山で終了しました。

鎌倉市詩吟詩舞連盟 岩崎岳恵

この度の鎌倉市詩吟詩舞連盟15周年大会には、碩心会の皆様のお陰をもちまして、盛会裡に無事終了することが出来ました。先生方に色々とお世話になり心よりお礼申し上げます。

母音の発声法			村田岳		
					
ん	;	ぶ	い	え	め
唇を閉じて舌の先を上顎に付けて、鼻から声を出す (詩吟の基本として練習の時) ご参考にどうぞ			唇を丸くする、舌を軟口蓋に近づけて、喉の奥を開く気持ちで発音する		
唇を窄めて前に突き出す、この時上下の唇をふれ合わせてはいけません			口を横に開く、上下の歯が軽く合う程度、エ音の口の開き方より狭くする		
			口を大きく開き、唇を左右に引く。舌を引いて舌の先を下顎に付ける		
			口を縦に大きく開く、この時下顎を充分に下げ、指が二本縦に入る位開く、舌は自然に下げる		

。行は鼻濁音	パ	バ	ダ	ザ	ガ ^o	ガ	ワ	ラ	ヤ	マ	ハ	ナ	タ	サ	カ	ア
	ペ	ベ	デ	ゼ	ゲ	ゲ	ウ _e	レ	エ	メ	ヘ	ネ	テ	セ	ケ	エ
	ピ	ビ	ジ	ジ	ギ	ギ	ウ _i	リ	イ	ミ	ヒ	ニ	チ	シ	キ	イ
	プ	ブ	ツ	ズ	グ	グ	ウ	ル	ユ	ム	フ	ヌ	ツ	ス	ク	ウ
	ペ	ベ	デ	ゼ	ゲ	ゲ	ウ _e	レ	エ	メ	ヘ	ネ	テ	セ	ケ	エ
	ポ	ボ	ド	ゾ	ゴ	ゴ	ウ _o	ロ	ヨ	モ	ホ	ノ	ト	ソ	コ	オ
	パ	バ	ダ	ザ	ガ	ガ	ワ	ラ	ヤ	マ	ハ	ナ	タ	サ	カ	ア
ポ	ボ	ド	ゾ	ゴ	ゴ	ウ _o	ロ	ヨ	モ	ホ	ノ	ト	ソ	コ	オ	

口の体遣

詩吟初段審査に合格して

藤松 四一

爽やかな秋が訪れてまいりました。去る9月24日、逗子図書館ホールにおいて神奈川碩心会秋季審査会が催され、未熟ながら初段を受けました。山雨到らんと欲して風正に楼に満つるの悪天候を、バイクに跨がって会場に向いました。三年にわたり加藤芳岳先生に御指導を頂き初心者である私も大きな希望をもつて壇上に登りました。老人ホームにおける詩吟クラブにあつて、有段者や同僚の陰ながらの声援を背に、堂々とやる以外に途なしと決め、司会者の指示を待ちました。

高鳴る胸を押さえて待つこと数分、やがて初段一番藤松四一と呼ばれ演壇に立つ。

初段一番藤松四一、「九月十日」菅原道真から一氣に吟じ終え退場しました後は神頼みでした。全審査終了後合格発表、総評等拝聴後解散した。

どうにか合格したことを先生より承り胸をなでおろし、午後一時過ぎ帰路に着く。

秋の空は変わりやすく天気晴朗、霊峰富士に祝福されながら家路に向かう。

詩吟にめぐり会えて

堀内支部E 井上 清

詩吟に関心を持ったのは、数十年前になりますか、たしか正月でした。何気なくテレビをつけたとき、和服で正装の男女が交互に吟詠されていました。

また二度目は友人の結婚式に招待された時披露宴も盛り上がった頃、一人の青年が起立し、結婚を祝福して吟詠されました。声量豊かな詩吟が会場一杯にひびき渡り、会場は水を打ったように静まり返りました。私は詩吟の奥深さと神秘性に心を打たれた次第です。

今回の白井岳麗先生との出会いも誠に神の引き合せと思える機会でした。或る立食パーティーで、小生の知人の処に白井先生が来られ、先生を紹介されました。後日先生よりいろいろ資料を送っていただきましたので即、入会いたしました。

始めてのレッスンは逗子図書館講座室で受け、会の先輩は素晴らしい方々ばかりでアットホームな中で勉強できることを喜んでおります。今後は白井先生を中心に勉強して、自信をもって吟詠できるよう努力いたします。

指導者及び教室名変更

幸和支部、西川幸岳氏は一身上の都合により横浜教室を11月1日をもって、松井教場に変更、指導者は草柳武風氏が担当します。尚幸和支部横須賀教室は従前通りです。

新名簿訂正

214 下村佳風（悠吟）

下村桂子を下村佳子に訂正

335 島 光子（逗子B）

訂正 〇四六七―二三―二八七六

288 鈴木幸山（東伏見）鈴木聰山に訂正

退会

332 沼田登美子（一色）175 駒場咲子（逗子A）

編集後記

11月3日に逗子、葉山は共に文化祭の詩吟詩舞の会が行なわれた。葉山では三曲と合同で、会場内には着物姿の人が多く華やかであった。琴の旋律は美しく、尺八のみで五人の演奏は瞑想の世界へ誘われる。詩吟、詩舞も舞台上に立つとなれば精神が昂揚し、伝統の日本文化の良さに浸る一日となった。11月19日の葉山地区温習会をもって今年の行事も終る。北海道は早くも吹雪。ご自愛下さい。